

障がい者
雇用

障がい者の再就職を支援

問い合わせ 福祉課障がい福祉係 (☎②8269)

緊急対策本部を市社会福祉協議会に設置

障がい者就労継続支援A型事業所を運営する倉敷市の企業が倒産して大量の解雇者が発生したことを受け、3月19日、緊急対策本部が設置されました。福祉協議会内「障がい者千

五百人雇用センター」に併設。職員が、解雇された障がい者の再就職の支援にあたります。

同日、緊急対策本部の設置に合わせて市役所で設置式が行われました。式には、市の幹部職員をはじめ、市



緊急対策本部設置式(写真上)。障がい者緊急就職面接会には、31人が訪れた(写真左)



社会福祉協議会、ハローワーク総社、総社商工会議所、市自立支援協議会から代表者が出席。同社で解雇された約170人のうち、約25人いる総社市民の再就職を、最優先事項に掲げることなどが話し合われました。市長は、「解雇された人を再就職に結びつけたときに、A型事業所に対する補助金制度の問題点が見えてくると思うので、厚生労働大臣に具申したい」と述べました。

また、速やかな就職につなげようと、4月11日に市保健センターで「障がい者緊急就職面接会」を開催しました。市内外の18事業所が参加し、31人の求職者が自分に合う就職先を探していました。

LRT

JR桃太郎線をLRT化へ

問い合わせ 都市計画課都市計画係 (☎②8302)

JR西日本、岡山市、総社市がトップ会談

JR西日本と岡山市、総社市の3者は、JR桃太郎線のLRT化について合意しました。



固い握手を交わす3者

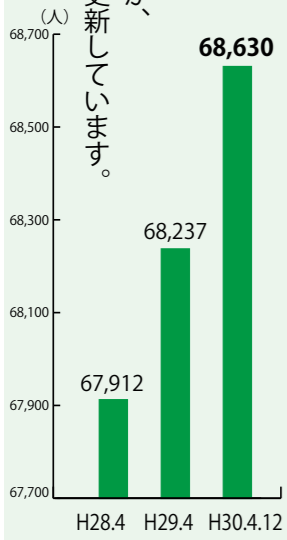
4月4日、来島JR西日本社長、大森岡山市長、片岡総社市長の3者が岡山市役所でトップ会談。事業概要や費用の負担割合などについて確認しました。事業費は、運行本数がピーク時(午前7時から8時台)で、岡山―総社間を1時間あたり4本、その他の時間帯は3本運行することや、新駅を7駅増やす想定から、初期投資額を約240億円と試算。そのうち約21億円を総社市が負担

することとしています。また、年間約1億円かかる修繕費は、その半分を両市で負担します。具体的な運行本数や新駅の場所などを含めた事業化については、市民や議会の意見を聞き、基本計画を策定するなかで協議していきます。

片岡市長は、「LRTを軸に全市的な交通網の精度を高めていく。議会や市民の皆さんの意見を伺いながら進めていきたい」と述べました。

伸びる総社市 人口が過去最多を更新

昨年12月7日の6万8587人が最多でしたが、4月12日に6万8630人となり、過去最多を更新しています。



水道料金 コンビニ収納がスタート

平成30年度1期分の納付書から、全国の主なコンビニエンスストアでも水道料金などが納付できるようになります。

コンビニで納付できる水道料金など

水道料金 公共下水道使用料
農業集落排水処理施設使用料
浄化槽使用料

支払い可能なコンビニ

セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、サンクス、サークルK、デイリーヤマザキ、ポプラ、ミニストップなど。
詳しくは、市ホームページで確認できます。

問い合わせ <水道料金について> 上水道課業務係 (☎②8326)、<公共下水道、農業集落排水処理施設、浄化槽の使用料について> 下水道課下水道係 (☎②8322)

小児医療費の助成拡大

中学生の通院医療費

自己負担が3割 → 1割に

4月から、中学生の通院にかかる医療費の自己負担が、これまでの3割から1割に軽減されました。

6月末までの受診分は払い戻し

4月から6月末までに医療機関を受診した場合は、いったん3割分を負担した後、市役所で払い戻しの手続きを行ってください。



詳しくは、16ページを確認してください。
問い合わせ こども課
子育て支援係 (☎②8268)

2018 そうじゃ吉備路マラソン

経済波及効果額まとまる

2月25日に開催された2018 そうじゃ吉備路マラソンの経済波及効果額がまとまりました。交通費や宿泊費などの直接効果と、岡山県産業連関表を用いて算出した波及効果を合計。過去最多のランナーとボランティア、沿道の応援、ゲストランナーなどさまざまな要因が重なった結果、経済波及効果額は昨年を上回り、過去最高を記録しました。

経済波及効果額は

7億495万1077円

直接効果	3億6728万5180円
波及効果	3億3766万5897円
合計	7億495万1077円

(前回比 16.9%増)

問い合わせ そうじゃ吉備路マラソン推進室 (☎②8375)